

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第180回

【学生の目】

区画整然とした高級住宅に建つ、小ぶりながら印象の強い一棟の住宅が気になった(写真)。

その理由はまず、太め

の木製の柱と梁が露出していて建物の輪郭を強調

している。次に南側にもかかわらず

窓が小さいうえに、上げ下げ窓になっている。さらに2階にベランダが

無く、総2階のようにみえる一面の

白い壁が、強烈に光を反射している。

また、寄せ棟を組み合わせた造り方で安定感があり、東西南北どちらからの地震にも大丈夫そうである。



内藤 希

不動産学部3年

柱と梁が見える住宅

柱と梁が露出することに対してま
ず気になったのは、耐火性である。
住宅が連続して建つ地域なので、少
なくとも準防火地域に指定されてい
ると想像したが、調べると防火関係
の指定はなく、疑問は解決した。次
に気になったのが、耐久性である。
日本は雨が多く湿度も高いので木部
を露出すると腐食が進みやすいと想
像した。しかし、しっかりと防腐塗

英国の伝統様式で、建築後
300年から400年経過し
た木造住宅が現役で使われる
こともある。大きさや使い方が
適切であれば、日本でも木
材をむき出しで使っても大丈
夫なことを発見した。

窓は壁と比べて断熱性能が
低く、かつ工事費が高い。こ
のため窓を小さくすることに
は合理性がある(森田愛理
「不動産の不思議第93回」15
年7月21日号) 一方で、建物

丈夫そうでデザインも個性的

料が塗られており、直接雨がかかる
部分には金属製の笠木をかぶせる配
慮がある。木部はどこどころひび
割れがあつて時間の経過を物語る
が、むしろそれが本物であることを
証明している感じで、重厚さにつな
がる。

を安っぽく見せてしまつ危険性があ
る。ここではそれを感じさせない装
飾性のある建具を使っている。また
出窓として立体感をもたせて、安さ
を感じさせない工夫をしている。

後で調べると、この地域は開発時
に英国のチューダー様式をもとに住
宅を設計したことがわかった。チュ
ーダー様式は装飾的な柱や梁が美し
ないことも問題だ。小さくてかわい
が誇りとともに大切に使っている。



印象的な住宅の建築様式を調べると...

【教員のコメント】

田園都市構想を実現した最初の都
市として有名な英国レッチワースで
は、110年以上前の立ち上げ期に
チープコテッジ地区で建設された、
小さくて「安い」住宅が今も使われ
る。歴史を知り、大きさに合う住人

らしい感じでも大きめの無垢
材を使い、構造的に安定して、
耐久性があり、デザインが個
性的で新鮮な印象を受ける住宅は、
若者が初めて手に入れる戸建て住宅
として魅力的だ。